



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2005 9

Bulletin

2005. 9. 1. 発行
第23巻 第3号 通巻266号

(CLUB OFFICE)
京都 YMCA
〒604-8101 京都市中京区三条橋通東角
電話 (075) 231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1983

クラブ主題

思いやる気持ち

国際主題 「求めるワイズから 行動するワイズへ」 "Be Y'smen in Deed not Y'smen in Need" Benson Wabula (ケニア)

アジア主題 「行動するリーダーになろう」 "Lead by your own Action." Janet Siew (シンガポール)

西日本区主題 「すすめ、愛と勇気をもって」 "Go Forward with Love and Courage" 佐野文彦 (西日本)

京都部主題 旬 (Shun) 古田 裕和 (京都トニービル)

メネット主題 愛を追い求めなさい! 愛は家庭から、そしてワイズ、地域社会へ 菅美代子 (熊本ひがし)

会長/竹田 博和
副会長/石倉 尚
田中 雅博
書記/藤本 純夫
会計/菅原 健一



聖句 だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。苦労はその日その日に、十分あります。

(マタイによる福音書 6章34節)



受け身ではない、私のクラブへ

メネット会長 竹田 倫子

キャピタルクラブに主人が入会してはや9年、自動的に私のキャピタルメネット歴9年(意外と長い)になります。けれどもメネット自覚歴は、きっと1年そこそこにしか満たないと思います。というのも元々主人が手を挙げたクラブ、私にとっては「火曜日の夕飯を主人の分作らなくて助かるわ」ぐらいの関心でした。毎年どんな委員会に入って、どんな活動をしているのかはほとんどわからない状態でした。メネットの活動も、下の子供がまだ小さいことや、持病のめまいがいつ出るかわからない事などで、ほとんど参加できませんでした。

そんな私の生活を180度変えることになったのが、前メネット会長の柳さんがメネット会のスタッフに誘って下さったことです。今まで参加できなかったメネットの活動にも、色々参加する機会が少しずつ増えてきました。

それは今までのユニクロの服を着て近所のスーパーへ買い物に出掛けるだけだった私の日常が、大きく変わるきっかけとなりました。メネットの集まりに参加するというとケチな主人が服を買ってくれたり、何よりも色々なメネットの方々との出会いや、お話を伺ったりすることは楽しいことですし、学ぶこともたくさんありました。また、今まで価値観も違う封建的な主人に、よく我慢してるな私、みたいな毎日でしたが、一つ同じ方向を向く物が出来たお陰でカビの生えかけていた夫婦の会話も、うんと明るくなったように思います。

前期1年間の柳メネット会長の元での修行ではまだまだ足りない未熟な私ですが、今期はスタッフに柳直前メネット会長、大門洋子さんに支えられて、私自身のクラブライフを楽しみ1年間活動していきたいと思いますので、よろしく願います。

西日本区
強調月間

9月 Menette

ファミリーで参加できる例会を企画し、絆を深めよう!

菅 美代子メネット事業主任

8
月
報
告



在籍者数 26名
広義会員 1名
第一例会 20名
メネット 4名
ゲスト 4名
第二例会 21名
メネット 4名
ゲスト 1名
特別メネット 1名
出席率 92.3%



切手 0g
現金 0円
累計切手 0g
累計現金 0円
JWF 0円
JWF累計 0円
EF累計 0円



第一例会 11,000円
第二例会 29,000円
累計 73,000円



78,520円
累計 78,520円



献血成分累計 0cc
成分累計 0cc
成分累計 0名



125周年 第一例会 3,111円
第二例会 0円
累計 9,797円

—— 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集 ——

8月第一例会

2005年8月2日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

皆が煌き旬の人であってほしい

—— 古田京都部部長公式訪問 ——

岡本尚男

人工衛星からも見えるという、500kWの明るさの漁火はプランクトンを集め、それを追って小魚が集まり、その小魚を狙ってくる烏賊をとる烏賊漁は夏の風物詩である。しかし、烏賊にとっては海水というフィルターを通してのために、その明るさは20分の1ぐらいだという。私たちも家庭やクラブ、職場などで一所懸命に輝いている人たちが発信していることを、100%そのまま受信しているだろうか。先入観や自分の心のバリアーというフィルターを通してみるために、烏賊と同じような状態ではないだろうか。心したいものであると、烏賊釣が趣味という竹田会長の挨拶で今日の例会が始まった。

ゲストは古田裕和京都部部長はじめ、山田一郎Yサ・ユース事業主査、河原正浩地域奉仕事業主査、小幡弘EMC事業主査、岡本敦子メネット事業主査、竹田メネット会長、柳、仁科、岡本メネットが出席。普段より一つテーブルが増えて賑やかな会場であった。

食事の後、部長と各主査の話が始まった。古田部長クラブ公式訪問としてのスピーチは、部長就任までの秘話として、本来ならば京都センチュリーが部長輩出の慣習だったところを打破したことから語られた。それはクラブ活性化を狙いとして京都トゥーピークラブから部長を輩出して、京都部に挑戦することが決定され、部長候補として手を挙げていた自分がいた。その動機は説明がつかないが、クラブ挙げての支援態勢のなかで、これからの一年の支援をお願いしたい。そして、京都部の皆さんが輝き、煌いているような存在になり、それが各クラブ活性化

の一因となれば、それこそ部長主題である「旬」の時期に皆さんが活躍していることとなる。部長就任までの経緯と部長主題を絡めて今期の方針を説明された。各主査からもそれぞれの事業についての所信が一所懸命に話された。

事業方針の詳細は7月号のプリテンに掲載の通りである。

村田ファンド委員長苦心のファンド通信販売の楽しいチラシが配られた。焼酎、ジャンパー、コーヒー、記念日や誕生日のプレゼントにケーキや花を指定日に自宅に配達するなどのアイデア一杯の8月のファンド事業への勧誘があった。何人かのメンバーの注文があったようである。9月、10月のファンド予告もあり、やる気まんまんの熱意が伝わっていた。竹田会長チームによるクラブ活動が始まったことを、印象づける例会であった。



左から 竹田会長、岡本メネット主査、古田部長、山田Yサ・ユース主査、河原地域奉仕主査、小幡EMC主査

8月第二例会

2005年8月20日(土)
於 天竺

もうひとりの会長 —タケコママ—

—— 背筋も凍る納涼ホラー企画 ——

石倉尚

暑い、あつい、アツイ... 8月20日(土)、中華料理の天竺にて納涼例会が行われました。午後7時、久しぶりの田中さんの司会で始まり、今期最初のメンバーゲスト吉井崇人さんの紹介がありました。大門さんの後輩で24歳、フォトスタジオをされているとのこと、若い入会候補(確定?)者にみんな終始にこやかです。

大門次期会長の声高らかな乾杯で宴がスタート。おいしい中華料理に舌鼓をうち、おいしい紹興酒でのどを潤し宴もたけなわ酔いもまわったところで、森ドライバー委員長恒例のクイズ大会。参加費千円で豪華賞品をいただけるとのことで全員参加(ムリヤリ)...。結果は、仁科さんに「夫婦で行きます、天竺お食事券!」。平岩さんに「仕事で使います、森さんご提供の作務衣!」。村田さんに「どうするの? チャイナドレス...」。

メンバーゲストの吉井さんには、「何か見える? 水晶玉のようなもの」。その他いろいろ、全員に参加賞もありました。

中締めは、和田アキ子のちっちゃい版のような、(使い道のあった)チャイナドレス姿のもうひとりの会長 - タケコママ - の登場...。みんなびっく



大門さんとタケコママ



二次会 むうじゅ



「祭り」の熱唱 岡島さん



ご機嫌さん 香山さん

り! これぞ背筋も凍る納涼ホラー企画! 大門さんのお姫様ダッコで記念撮影。一次会も無事にお開き。吉井さん今日は特別なんですヨ...トクベツ...

二次会は、「むうじゅ」へ。オープニングは、岡島サブちゃん熱唱する「祭り」。続いて新キャピタルバンドか? 勝山バンド不在でもガンバッテマス! ドラム・山田隆之、キーボード・村田深砂子、マスターのギター、娘さんのサクソ。即席バンドで歌う歌う...大いに盛り上がり大いに楽しみました。二次会までおつきあいただいた吉井さん(歌 TSUNAMI)ありがとうございました。次回は、本当の竹田会長に会えるはずです。

PS. 天竺といえば西遊記で孫悟空たちが目指した「インド」ではなかったか? ... 次回は、和食で「月見で一杯」ですなあ。

あなたの第二の人生は？

内廣 健

生涯青春・生涯現役をモットーとして

1945年8月の終戦時に私は小学6年生。

あれから60年が経ってしまったわけですが、私のキャピタル歴も早いもので20年余となりました。

「昔は良かった」と言う老人特有の言い方はしたくないのですが、礼節を尊び節約儉約を美德された時代の中に育ちながら、それに耐える気力と根性を培い、とりたてての不平不満もなく成長できたことが、私の誇りと言えます。

また「青年期」「壮年期」を経て「老年期」に至るまでの長い年月の中で出会った多彩の方々が私の財産となり、現在の私を豊かにして呉れているように思えます。

「老年期」とは言いましても、まだ仕事から離れられない私ですが、週末に訪れる娘や孫を相手に説教臭くならないように気を付けながら礼節を教え、逆に新しい感覚を教わって、自分をリフレッシュさせることを心掛けているのですが...

たしかに自然には逆らえず体力の衰えを実感する今日この頃ですが、気力だけは充分。

70歳には70歳の青春もありますので、物事に対する意欲を失わず歩み続けたいと願っている私です。

人生はその人の生きた長さではなく深さの方が大切とか。

大山 孜郎

第二の人生はありません

「定年になったら...、65歳になったら...」などと、ある時期を境に、第二の人生を考える人々が居ます。しかし、私にはその様な計画や設計はありません。

開業医には定年があるわけではなく、体力的な問題や、精神的な問題で医療行為が不可能な状態にならない限り診療を続ける医師が大部分です。私の専門である耳鼻咽喉科は、体力的にかなりハ・ドな医療ですので、今の様な形態の診療行為を続けることには限度があると思います。

しかし私は命のある限り、聴覚障害児(者)の自立支援の援助のために様々な方法でつくっていきたくと思っています。

つまり私には第二の人生はありません。

八木 悠祐

田舎暮らしを夢んでいます

このお題をいただきましたも、第一の人生序盤の私にとりまして多少困惑する面があります。しかしながらよく考えてみると、現在の第一の人生も「よし、文房具屋になろう!!」と考えたわけではなかったような気がします。小さな頃から、自分は親父の後を継ぐものだと思い込んできたようなところがあり、実際に時期は少し早まりましたがそのようになりました。

あらためて第二の人生に何がしたいか?と考えると、田舎暮らしをしたいと思っています。きれいな川の流れる山間の土地(朽木村あたりがよいですな)で、小さな畑で野菜を育てたり、魚を捕ったり、ゆっくりとした時間を過ごしたいと思います。そこで、大好きな蕎麦のお店を開けたら最高です。第二の人生というか、夢ですね...。私にとって第二の人生とはそれぐらい漠然としたものです。

今は目的意識を持ちながら、第一の人生を全うするのみ!! 今後とも頑張っていきたいと思っています。

お腹も気持ちも一杯メネット懇親会

山田とも子

真夏らしい太陽がジリジリと輝く8月4日、ホテルグランピア京都15Fでメネット懇親会が行われました。

案内されて席に着き、鉄板とシェフに向かい合うと正面はガラス張り、それはすてきな素晴らしい眺めでした。8月16日の五山の送り火が5つとも見えるそうです。「ほほう。だからこの店の名前は“五山望”なのか」と納得しました。

竹田メネット会長より『毎日暑いので、おいしいものを食べてスタミナをつけましょう』と挨拶され、目の前で次々と焼いて出される料理に喜び、感激しながら自然に顔がほころび本当に美味しくいただきました。その後、竹田会長のご好意で、ラウンジに席を移し、全員が体に良いヘルシージュースをいただき、女性の永遠のテーマでもある、美容と健康についての話に花が咲きました。楽しい新鮮な時間を過ごす事が出来てお腹も気

持ちも一杯になりました。

参加者 竹田、内廣、岡本、勝山、菅原、仁科、堀、柳、正子・ダルマパーラン、山口(弘)、山田(と)



聖句の解説

今日という一日を精一杯生きてみようと決心するなら、明日のことについて思い煩うことが少なくなります。

私たちは、現実には起こるはずのないことについてあれやこれやと心配します。神様は、私たちが取り組むべき事柄、エネルギーを費やすべき事柄は、今日という一日の中にあるのですよ、とのべています。この大切なエネルギーを、心配することのために費やさないようにしましょう。

新生 京都ウェルクラブ誕生

直前会長 柳 慎司



2005年8月7日(日) 京都プリンスクラブがスポンサーとなる京都ウェルクラブがホームグラウンドとなる平安会館に、170名の参加者が集い、加盟認証状伝達式が開催

されました。

第一部式典(3:30)の司会はプリンスクラブの谷川、廣井の両氏で進行され、ウェルクラブ西堀会長の力強い開会の点鐘から始まりました。

式典は厳粛に行われる中、設立経過報告、佐野西日本区理事の英文による加盟認証状伝達では、あらためて国際クラブだと痛感しました。来賓の祝辞と激励、ウェルメンバーを拝見しますと、若々しく、前途洋々です。スポンサークラブのプリンスクラブのメンバーも子クラブ輩出門出のセレモニー進行に務めておられました。

第二部祝宴(5:00)ではウェルクラブより中村(女性メン)、永井両氏で初々しく進行されておりました。海外より、台中エパーモアクラブもお祝いに駆けつけておられ、国際色豊かな祝宴です。

古田京都部部長の乾杯で始まり、「子クラブをよろしく」と親クラブメンバーが各テーブルへ挨拶回りをしておられるのが印象的でした。

アトラクション(ミニライブ)では若いクラブらしく、ストリートダンスとアカペラで大いに盛り上がりました。

最後に永井副会長の閉宴の辞で締めくりとなりました。

京都部18番目のクラブ、エースナンバーを背負ってウェルクラブの益々のご発展を祈念しております。

参加者 竹田会長、仁科、仁科メネット、柳

西日本区 地域奉仕事業研修会

田中 雅博

2005年7月31日(日)、北九州市小倉にて『地域奉仕事業研修会』が佐野理事はじめ総勢51名の出席にて開催され、京都部からは11名が参加しました。

キャピタルからは石倉次期地域奉仕事業主任と竹田会長と私の3名が出席し、どうしても遅刻できないと言われる石倉さんと私は、早々と前日に関門トンネルをくぐりました。

当日は、石倉さんが司会の大役を見事に果たされました。そこにはいつものユーモアたっぷりの石倉さんではなく、まじめな面持ちと口調の石倉さんがいて「やっぱり主任になろうとすると変わるもんやな」と、竹田会長と顔を見合わせておりました。

今回の研修会は、第1部が大谷主任による「西日本区の地域奉仕事業方針の説明」、第2部が『HANDS』事務局の藤崎智子さんによる「HIV/AIDSの現状と課題」と題する講演などで、事業内容についてもよく理解することができました。

事業方針では、TOF資金が今年度から5年間は、国際統一事業(UGP)としてストップHIV/AIDSプロジェクトのために国際で使われるとの説明がありました。また講演では、「今後日本を含む東アジアでのHIV感染者が急激に増える」との警鐘がありました。夕刻からは懇親会が



あり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、熊本みなみクラブの山形さんや宮崎クラブの上田さんと再会し、また多くの皆さまとも親睦を深めることが出来ました。

久しぶりの九州、久しぶりの遠出、またまた楽しい思い出がいっぱい生まれました。

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

堀 一行 9. 1 菅原 樫一 9. 11

メネット

山口 弘子 9. 16 菅原由利子 9. 20

山田とも子 9. 20

コメント

山口昴一郎 9. 9 山田 智也 9. 12

石倉 斉 9. 27

9月・10月予定抄

- 9月4日(日) リトセン秋の準備ワーク
- 9月11日(日) 第一例会(京都部部会) 全日空ホテル
- 9月16日(金) ファンド卓球大会
- 9月20日(火) 第二例会 HB/HA
- 9月24日(土) ふれあい広場
- 9月27日(火) 役員会
- 10月4日(火) 第一例会 HB/HA
- 10月18日(火) 第二例会
- 10月25日(火) 役員会

第5回 役員会議事録

2005年8月23日(火)19 00~21 00
ウエスティン都ホテル京都

<報告事項>

西日本区

- ・アジア大会 8月26日~28日/韓国ソウル市
- ・'06/7~'09/6 国際議員候補者推薦のお願い
- ・「YMCA手帳」「YMCA・YWCA 合同祈祷週パンフレット」
- ・組織検討安全対策特別委員会委員 堀さん委嘱状

京都部

- ・京都部部会 9月11日(日)/全日空ホテル/開会 17 00

三役会

- ・次々期会長選考委員会 竹田・柳・大門・内廣・平岩
- ・山川さん 退会の件

YMCA

<各事業委員会報告>

Yサ・ユース

- ・9月4日(日)リトセン準備ワーク
- ・10月病児キャンプへの協賛金贈呈

地域奉仕

- ・9月24日(土)ふれあい広場 ブルーメの丘
- ・9月第2例会でベテスダー品寄贈品集めます。

ドライバー

- ・第1例会 9月11日(日)京都部部会
- ・第2例会 9月20日(火)鬼丸雅也様

ファンド

- ・9月16日(金)卓球大会
- ・10月 ジャガイモファンド

交流

- ・ベゼル来日 アジア大会にて確認

E M C

- ・候補者推薦の件

<審議事項>

- ・次々期会長選考委員会
- ・山川さん退会の件

承認
承認

